

登録有形文化財（建造物）の新規登録について

平成 27 年 3 月 13 日（金）に文化審議会が開催され、同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、下記の文化財の登録が文部科学大臣に答申されました。今後、官報告示を経て、登録文化財原簿に登録されることとなります。県内では、登録有形文化財（建造物）は、平成 26 年 11 月 21 日に答申された安本酒造店舗兼主屋他 9 件に続くもので、合計 135 件となります。

【答申予定の登録有形文化財（建造物）】

名 称	員 数	所 在 地	所 有 者	建 築 年 代
べにや旅館本館 <small>りょかんほんかん</small>	1 棟	あわら市温泉 4-510	株式会社 べにや旅館	昭和 32 年
べにや旅館中央館 <small>りょかんちゅうおうかん</small>	1 棟	あわら市温泉 4-510	株式会社 べにや旅館	昭和 32 年
べにや旅館東館 <small>りょかんひがしかん</small>	1 棟	あわら市温泉 4-510	株式会社 べにや旅館	昭和 32 年

〇べにや旅館について

- ・所在地 あわら市温泉 4-510
- ・所有者 株式会社べにや旅館
- ・年代 昭和 32 年
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 あわら温泉街の中ほどに位置する旅館で、現在の建物は昭和 31 年の芦原温泉大火後に再建された。広大な庭園を囲むように、玄関のある本館、客室棟の中央館および東館が並ぶ。
本館は地階および 1 階を鉄筋コンクリート造、2 階を木造として 90 畳の大広間をもつ。客室のある中央館および東館は、数寄屋意匠の床の間や天井をもつ客室で、各室ごとに意匠を変えて趣向を凝らす。





位置図

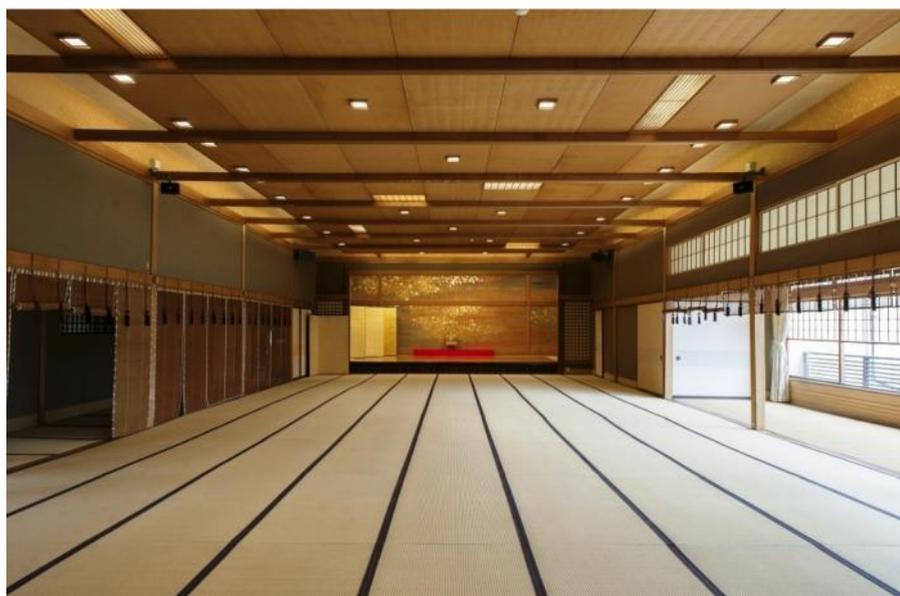
【各建物について】

○べにや旅館本館 1棟

- ・年 代 昭和 32 年、昭和 50 年頃改修
- ・特 徴 地階および1階を鉄筋コンクリート造、2階を木造とした建物で、1階に玄関・ラウンジ・大浴場、2階に大広間、地階に厨房をそなえる。大広間は、木造で90畳の大空間をつくる。



外 観



大 広 間

○べにや旅館中央館 1棟

- ・年 代 昭和32年、平成4年改修
- ・特 徴 本館の東に接続して建つ木造二階建ての客室棟で、主として庭に面した北側に客室を、道路側の南側に配膳所や便所等を配する。客室は、1階に7室、2階に7室を配する。主な客室は、踏込と次の間をもち、8畳間に広縁を設けた間取りで、床の間や天井などに数寄屋意匠を施す。これらの意匠は室毎に異なり、趣向を凝らした客室である。



外 観



客 室

○べにや旅館東館 1棟

- ・年 代 昭和 32 年、昭和 63 年頃改修
- ・特 徴 中央館の東に接続して建つ、木造二階建一部平屋建の客室棟である。客室は、1階に4室、2階に4室を配する。主な客室は、踏込と次の間をもち、10畳間に広縁を設けた間取りで、中央館同様に床の間や天井などに数寄屋意匠を施す。平屋建部分の客室は、最も広く、床の間付の4畳半、8畳、10畳を配し、縁等を設け、丁寧な造作が随所に見られる。



外 観



客 室（平屋建）